



第67号

昭和40年2月1日 毎月1回1日発行
昭和38年1月23日第三種郵便物認可

よい子に育てるための12章

よい子に育てるためには、家庭と学校と社会の協力が要です。

とくに家庭は、子どもの人生の出発点であり、「三つ子の魂」がつくられるたいせつなところであるだけに、真剣にその教育について考えなければなりません。

第一章 子は鏡 親の心を写す

親のすることは、よいことでも悪いことでも、すぐまわります。よい子に育てるためには、よい親になることが第一です。

役場望楼より

町中心部を望む



発展成長の年

町長 坂 本 常 蔵

あけましておめでとございませう。

希望に満ちた新春を迎え、町民のみなさんと共に、心からお祝いを申し上げます。

本年は己(み)年、己とは、季節では四月を示して成長を意味し、事業を興すのに最良の、えんぎのよい年といわれています。

合併十周年を迎えましたが、営々として築きあげてきた基盤の上に立て、更に二そのの努力を続けて、発展成長の年にしたいと念願しております。

かえりみると、昨年は、昇龍の年といわれ、国際的に大成功をおさめたオリンピックが行なわれ県内においては、鹿島開発が着々と建設のつち音を高め、町においても、統合中学校の建築が順調に進められ、3千平方メートルにおよぶ普通教室全部の完成を間近にひかえています。

反面において、経済高度成長のひずみというものが問題とされ、今後の町財政においても、前途多難を克服して、軍小の経費で重大の効果をあげるよう、諸施策をすすめたいと存じます。

統合中学校は、四月には、町全中学校の生徒を収容できる見込みですが、更に、特別教室千七百平方

メートルの建築を予定しております。

次代をなす中学生が、完備された、りっぱな設備と、明かい環境の中で育成されるという、私達の宿願達成を目前に迎えましたことは、喜びに堪えないところであります。

農業問題では、農業構造改善事業による玉造土地区改良の揚水施設が着工の運びとなり、四十年度には、基盤整備が実施されて百ヘクタールにおよぶ近代的水田の出現を見ることがあります。

土地改良事業は、これを含めて水田地帯に一心行きたいわけですが、合地畑作地帯においても石岡合地土地区改良、北浦東部土地区改良等の事業が、調査段階に入り関連地域として実施への曙光が見えておりますので、これが推進に努力を続けてまいります。

高浜入干拓事業は、昭和三十五年からの綿密な調査を終え、本年度から千五百ヘクタールにおよぶ水田造成の実施設計にはいることになりました。漁業補償、背後地関係等の問題がありますが、これを解決しながら、実現へ協力していきたいと考えています。

地域の70パーセントを占める農家が、経済的、経営面に多くの依存度を持つ、農業協同組合が、多年の懸案でありながら、今なお、

合併のできない現状にかんがみ、具体的な話し合いをすすめて、合併の実施に積極的協力を続け、もって、農家の利益向上に資したいと存じます。

加入予定4百74戸の、農村集団自動電話は、電電公社の手によって、九月頃までには開通を見込まれ、既設の一般電話、上山地域団体電話と相まって、地域文化生活に一段と役立つことが期待されます。

国民健康保険は、本年から全被保険者の7割給付が実施され、医療保障に大きな改善をみたことは

明るい町政を

町議会議長 笹 目 義 男

町議会を代表して、謹んで、新年のごあいさつを申し上げます。ここに、希望の新春を迎え、みなさんの幸福と、ご繁栄を心からお祈りいたします。

新年は、一年間のスタートであり、人生に心気一転の好機を与え、重大な意義があります。

ことしは何をなすべきか、町発展のために、前途には重大な問題が数多くありますが、みなさんのご支援とご協力によって、明るい町政に参画してまいりたいと存じます。

次代の青少年を育成する、義務教育の充実振興、統合中学校の早期完成、農業構造改善の推進、し

喜ばしいところであり、他方、健康管理の指導にも、更に意を用いるつもりであります。

その他、住民福祉の増進、道路の整備、商工業の振興等、実施せねばならない事業はたくさんありますが、町議会をはじめ各機関の方々、町民のみなさんのご意見を十分に考慮して推進してまいります。

今後共、従来に変わらぬご理解とご協力をたまわりますよう、お願いし、みなさんのご多幸を、お祈りして、年頭のあいさつといたします。

尿処理の実現等の問題に、真剣に取り組んで、その達成に努力をかかわってまいります。

なにとぞ、町議会に対し、倍旧のご指導と、ご協力をお願い申し上げます。

町政日誌 1月

- 8日 消防出初式
- 12日 区長会議
- 13日 町議会協議会
- 14日 例月出納検査
- 18日 陸上自衛隊勝田施設隊来町
- 27日 地域振興会議
- 31日 稲本官房長官就任祝賀式(麻生商校)

「農産物価格の安定」と「近代的経営の育成」を

農業委員会 佐 目 義 男

新年度にあたり、心からお祝いを申し上げます。
さて、昨年は、農業委員会委員の改選が行なわれ、私も、町農政担当者としての重責を三たびになつたことになりましたが、静かに農業のおかれてゐる社会的立場を考えると、昭和四十年が、農政推進の年であることを願ひます。

「農業後継者が希望をもつて農業に従事し、進んで花嫁が来るような、近代的家族経営の農家を育成すること」
の二つを、本年度の方針として進めたいと思ふ。

「農業後継者が希望をもつて農業に従事し、進んで花嫁が来るような、近代的家族経営の農家を育成すること」
の二つを、本年度の方針として進めたいと思ふ。

中学校建設を重点に

教育長 大 森 隆

みなさん、あけましておめでとうございませう。
めずらしく大雨の中に迎えたお正月は、ゆつくりおつた気分が、これから先のことを考えることができました。

かた、20年の歳月は、夢のように過ぎ去りました。
そして、民主主義教育は、時の流れにつれてすばらしい成果をあげて、年ごとに前進向上を見ておりますことは、ご同慶にたえませう。

楽しい生活を

区長 久 米 久 良

あけましておめでとうございませう。
昭和四十年も、また一つして、みなさんと、共に、元気に歩んでいくことをめざしてまいります。

中学校生徒は、知能と体力が急速に発達する年であり、また、自主的に自己意識に目覚める年であり、更に、本人の将来を基本として、

用排水施設の起工

玉造上土地改良区

玉造上土地改良区では、1月14日、農業施設改善による昭和39年度用排水工事の起工式をあげました。

工事(ビニール管)一、二〇〇埋設

五三万円 寺内工務店

ポンプ工事(首尾力)

七五〇万円 斉藤商事

およひ字溝

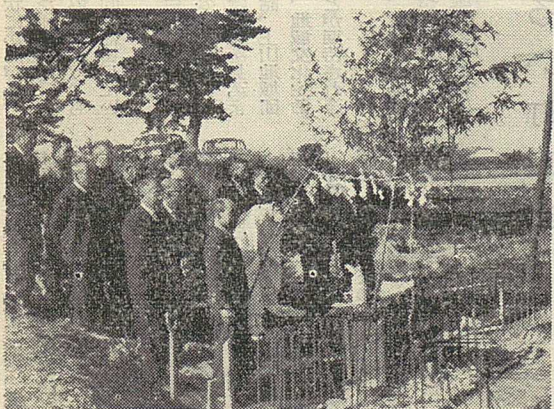
六三万円 中山工業

柵工事(柵板五五五)

四四八万円 武井工業

排水機場(フロッグ造り、50平方尺・吐出口) およひ水路

約九〇〇万円 小野田建設



県、營養魚施設

高須に設置さる

県では、電が浦水産振興施設として、種苗センターを設置することになり、その敷地として、玉造地区高須地先(通常、新川岸と呼ばれてゐるところ)の、約4ヘクタールを決定しました。

この施設は、こい、うなぎ、にじます等のふ化、養殖を行ないその稚魚を養育し、養育等の漁業者に配付したり、電が浦へ放流したりするものです。

この開設は、電が浦水産資源の増進に、電が浦水産振興施設として、種苗センターを設置することになり、その敷地として、玉造地区高須地先(通常、新川岸と呼ばれてゐるところ)の、約4ヘクタールを決定しました。

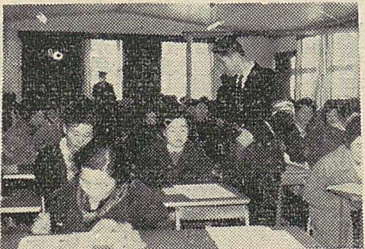
名運轉手が誕生

耕うん機の出張試験

小型特殊運転免許(耕うん機)の出張試験が、1月14日午前10時から、青年研修所で行なわれました。

農業の近代化につれて、機械化が急速に進み、牛馬や荷車にかわつて、耕うん機の時代になりました。町でも8百50台に達しています。

農耕に従事する婦人の利用度もふえ、わざわざ遠い試験場に出向くことがむづかしいこともあるので、県農業協同組合中央会麻生支部などの協力により、出張試験の便が与えられたもので、受験者百何名のうち、大部分が婦人であり、男は、わずか14名でした。



自衛隊の作業で

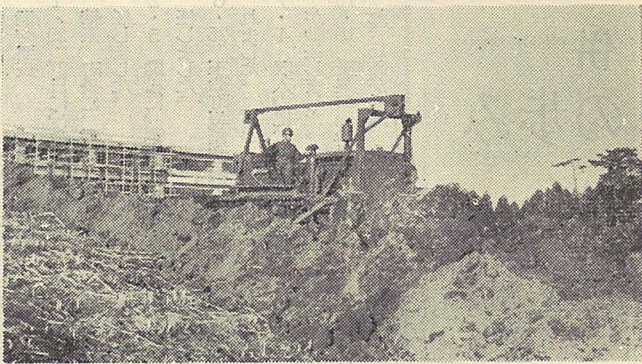
統合中の整地進む

統合中学校の建設工事は、4月開校をめざして、急速に進められていますが、約3ヘクタールの校庭の整地は、自衛隊の協力を得ることになりました。

この作業は、陸上自衛隊勝田施設学校教導大隊第一尉ら20名と同様に派遣された各施設部隊の幹部隊員ら18名により、1月18日から2か月間の予定で行なわれます。

町民みなさんの見学も自由ですが、隊員の指示に従つて、作業に支障をおよぼさないよう、注意していただきます。

なお、隊員は、青年研修所へ合宿しています。

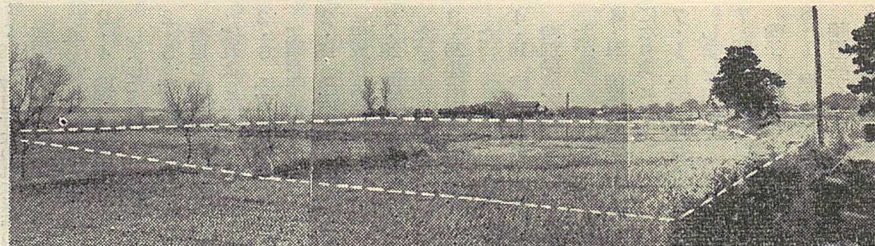


洋服で参加 簡素化された成人式

第17回玉造町成人式を、1月15日午前10時から、青年研修所で行しました。

ことし、成人に達した方は、男99名、女百12名、計2百11名です。式には、百36名が参加しました。

年々、華やかになってきた、女子の和服姿に対し、改善しようとの意見が高まり、昨年から、婦人会、女子青年団、職域など、検討を続けた結果、洋服に統一し



責任が非常に重くなります。この意義をかみしめて、雄々しく社会人として出発していただきます。その心構えとして、
①若らしい勇気をもつ
②与えられた毎日の仕事に全力をそそぐ
③日々の生活において感謝を忘れない
④良書を多く読み、教養を身につける
⑤健康であること
の五点をあげます。」

麻生支部長さんをはじめ、副員の入たちによつて、検眼、筆記試験が行なわれた結果、百点満点3名をふめて、百6名が合格しました。

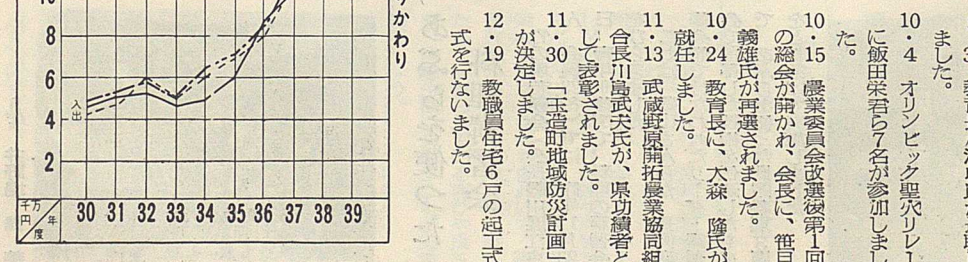
- 1・37 年 教育振興対策委員会から、統合中学校建設について、「町内一校に統合すること」を骨子とする、答申がありました。
- 1・20 高浜入千拍促進大会が石岡市で開催されました。
- 2・17 日本消防協会から、団旗竿頭授けを受けました。
- 2・23 農業構造改善事業の一般

- 11・11 蔵氏が就任しました。
- 11・11 農業委員会が行なわれ玉造小学校を会場として、素人演芸会、学芸フックル、陣上競技会など、多彩な催しがありました。
- 12・21 町議会議員の選挙を行ない、26名が当選しました。
- 31 年 町議会、議長に、大崎庄司氏が選出されました。
- 7・23 浜小学校の改築工事が完了しました。
- 8・1 各地に、納税組合が結成されました。
- 11・17 農業委員会が行なわれました。
- 32 年 2・27 新しい町づくりの計画を調査、審議するため、新町建設審議会が設けられました。
- 4・1 消防団長に、笹目正義氏が就任しました。
- 6・29 役場新庁舎の起工式を行ないました。玉造町中四〇四番地。
- 8・31 各支所を廃止し、出張所としました。
- 9・1 新農村建設事業の計画樹

- 1・27 役場新庁舎が完成し、開庁式が行なわれました。
- 同日と28日の2日にわたり、開庁記念の農業祭が行なわれました。
- 33 年 玉造小学校の2階校舎を取りこわし、職員室などを増築した工事が完了しました。
- 5・1 手賀・現原両出張所を廃止しました。
- 5・23 第一地域が、新農村建設対策委員会とつづき、特別助成区域に指定されました。
- 8・22 32年度納税成績優秀により、泉町村会から金看板を受けました。
- 9・30 26・27両にわたる22号台風の影響は、冠水水田百40畝、稲束流出6万は、家屋全壊5戸等により、この日友未泉知事が視察のため来町しました。
- 10・8 玉川・立花両出張所を廃止し、これで全出張所はなくなり、それぞれ、公民館分館として利用されることになりました。
- 10・26 27両にわたる22号台風の影響は、冠水水田百40畝、稲束流出6万は、家屋全壊5戸等により、この日友未泉知事が視察のため来町しました。
- 3・20 小座山農道工事が完成しました。
- 4・16 第一地域が、新農村建設特別助成区域に指定されました。
- 4・21 国民健康保険事業が実施になりました。
- 7・1 母子健康センターが完成しました。
- 7・26 助役、石田三雄氏が就任しました。
- 8・1 農業委員会会長に、笹目義男氏が就任しました。
- 8・7 33年度納税成績優秀で、

- 4・5 統合中学校の敷地を玉造町中一八〇七番地に決定しました。
- 4・9 部費会長に、久米久良氏が就任しました。
- 4・26 29 黄泰病の空中防除がヘリコプターによって実施されました。
- 6・20 部長を区長と、組合長を班長と、それぞれ改称しました。
- 7・15 8月4日まで、アメリカの女子大生メリーさんが、中山石田留雄さん宅で、宿泊研修を続けました。
- 7・26 助役石田三雄氏、収入役飯島正氏が退職しました。
- 7・30 消防団服を支給しました。
- 8・20 県営住宅10戸が完成しました。
- 9・20 上山地域団体電話架設工事のため自衛隊員10名が派遣されました。
- 9・25 県消防大会で、優秀旗を受けました。
- 10・11 県立玉造工業高等学校の開校式が行なわれました。
- 11・1 上山地域団体電話が開通しました。
- 11・22 24 産業文化祭が行なわれました。
- 11・30 37年度納税優良町として金看板を受けました。
- 12・24 町議会議員選挙が行なわれ、木村茂氏ら26名が当選しました。
- 1・9 町議会議長に、笹目義雄

- 9・24 県消防大会で、優秀旗を受けました。
- 10・1 消防ポンプ自動車1台を配備、消防力に偉力を加えました。
- 国民年金制度が実施されました。
- 12・1 消防団長に、鈴木新吾氏が就任しました。
- 12・3 公民館玉川分館の改築工事が完了しました。
- 12・22 町議会議員選挙が行なわれ、根崎正夫氏ら26名が当選しました。
- 12・25 トロッコ等、土運搬施設を購入しました。
- 35 年 1・7 町議会議長に、栗原忠良氏が就任しました。
- 1・15 町長、教育長の引奉により、水戸常磐神社で成人式を挙行しました。
- 1・13 新町建設事業の、上山・シタタ線改修のため、自衛隊員が派遣されました。
- 3・5 鳥崎共同集荷所が完成しました。
- 3・10 小座山共同集荷所が完成しました。
- 4・27 上山シタタ線の改修工事が完了しました。
- 6・1 農林省高浜入千拍調査事務所が役場内に設けられました。
- 9・23 県消防大会で、優秀旗を受けました。
- 8・20 玉造土地改良区が設立されて、理事長に橋川義雄氏が就任、上地区内の水田、百畝の基盤整備事業を推進することになりました。
- 9・23 県消防大会で、優秀旗を受けました。
- 9・30 教育長小沼巧氏が退職しました。
- 10・4 オリニック豊沢リレーに飯田栄君ら7名が参加しました。
- 10・15 農業委員会改選後第一回の総会が開かれ、会長に、笹目義雄氏が再選されました。
- 10・24 教育長に、大森 隆氏が就任しました。
- 11・13 武蔵野農産物振興協同組合長川島武夫氏が、県功績者として表彰されました。
- 11・30 玉造町地域防災計画が決定しました。
- 12・19 教職員住宅6戸の起工式を行ないました。



合併の歩み

あり、私たちは、これを発展というこぼれ現わしたいと考える。そして、わが町10年の歩みは、多くの苦しみと難関をきりぬけて住みよい郷土、明るい町づくりのために、たゆみなく続けてきた、町民みなさんの努力の歴史なのです。10年の画期は、また、20・30年の出発点ともなるものです。ここに述べた、数々の思い出と、成果をかえりみて、その経験を十分に活かして更に、町発展への前進を続けてまいりましょう。

- 1・1 玉川村・手賀村・玉造町現原村、立花村を廃止して、その区域をもって玉造町を置くことになりました。
- 面積 五七・二八平方。
- 人口 一六、〇二八
- 役場所在地 田三六番地の二分室 田二〇番地
- 支所 玉川・手賀・現原・立花
- 町長職務執行者 稲根由雄氏
- 町役場職員 61名
- 町議会議員 羽成国三氏 80名
- 農業委員会 石田三雄氏 80名
- 教育長 小沼 巧氏
- 消防団長 沼田 兵部氏
- 1・29 27日に行なわれた選挙の結果、町長に、磯山 秀氏が就任しました。
- 2・5 助役、稲根由雄氏が就任しました。
- 6・25 玉造町創刊第1期が発行されました。
- 7・4 収入役に、飯島 正氏が就任しました。
- 10・10 農業委員の選挙が行なわれ、15名が当選、会長に坂本常

- 1・7 町議会、議長に、大崎庄司氏が選出されました。
- 7・23 浜小学校の改築工事が完了しました。
- 8・1 各地に、納税組合が結成されました。
- 11・17 農業委員会が行なわれました。
- 32 年 2・27 新しい町づくりの計画を調査、審議するため、新町建設審議会が設けられました。
- 4・1 消防団長に、笹目正義氏が就任しました。
- 6・29 役場新庁舎の起工式を行ないました。玉造町中四〇四番地。
- 8・31 各支所を廃止し、出張所としました。
- 9・1 新農村建設事業の計画樹

- 1・27 役場新庁舎が完成し、開庁式が行なわれました。
- 同日と28日の2日にわたり、開庁記念の農業祭が行なわれました。
- 33 年 玉造小学校の2階校舎を取りこわし、職員室などを増築した工事が完了しました。
- 5・1 手賀・現原両出張所を廃止しました。
- 5・23 第一地域が、新農村建設対策委員会とつづき、特別助成区域に指定されました。
- 8・22 32年度納税成績優秀により、泉町村会から金看板を受けました。
- 9・30 26・27両にわたる22号台風の影響は、冠水水田百40畝、稲束流出6万は、家屋全壊5戸等により、この日友未泉知事が視察のため来町しました。
- 10・8 玉川・立花両出張所を廃止し、これで全出張所はなくなり、それぞれ、公民館分館として利用されることになりました。
- 10・26 27両にわたる22号台風の影響は、冠水水田百40畝、稲束流出6万は、家屋全壊5戸等により、この日友未泉知事が視察のため来町しました。
- 3・20 小座山農道工事が完成しました。
- 4・16 第一地域が、新農村建設特別助成区域に指定されました。
- 4・21 国民健康保険事業が実施になりました。
- 7・1 母子健康センターが完成しました。
- 7・26 助役、石田三雄氏が就任しました。
- 8・1 農業委員会会長に、笹目義男氏が就任しました。
- 8・7 33年度納税成績優秀で、

- 4・5 統合中学校の敷地を玉造町中一八〇七番地に決定しました。
- 4・9 部費会長に、久米久良氏が就任しました。
- 4・26 29 黄泰病の空中防除がヘリコプターによって実施されました。
- 6・20 部長を区長と、組合長を班長と、それぞれ改称しました。
- 7・15 8月4日まで、アメリカの女子大生メリーさんが、中山石田留雄さん宅で、宿泊研修を続けました。
- 7・26 助役石田三雄氏、収入役飯島正氏が退職しました。
- 7・30 消防団服を支給しました。
- 8・20 県営住宅10戸が完成しました。
- 9・20 上山地域団体電話架設工事のため自衛隊員10名が派遣されました。
- 9・25 県消防大会で、優秀旗を受けました。
- 10・11 県立玉造工業高等学校の開校式が行なわれました。
- 11・1 上山地域団体電話が開通しました。
- 11・22 24 産業文化祭が行なわれました。
- 11・30 37年度納税優良町として金看板を受けました。
- 12・24 町議会議員選挙が行なわれ、木村茂氏ら26名が当選しました。
- 1・9 町議会議長に、笹目義雄

- 9・24 県消防大会で、優秀旗を受けました。
- 10・1 消防ポンプ自動車1台を配備、消防力に偉力を加えました。
- 国民年金制度が実施されました。
- 12・1 消防団長に、鈴木新吾氏が就任しました。
- 12・3 公民館玉川分館の改築工事が完了しました。
- 12・22 町議会議員選挙が行なわれ、根崎正夫氏ら26名が当選しました。
- 12・25 トロッコ等、土運搬施設を購入しました。
- 35 年 1・7 町議会議長に、栗原忠良氏が就任しました。
- 1・15 町長、教育長の引奉により、水戸常磐神社で成人式を挙行しました。
- 1・13 新町建設事業の、上山・シタタ線改修のため、自衛隊員が派遣されました。
- 3・5 鳥崎共同集荷所が完成しました。
- 3・10 小座山共同集荷所が完成しました。
- 4・27 上山シタタ線の改修工事が完了しました。
- 6・1 農林省高浜入千拍調査事務所が役場内に設けられました。
- 9・23 県消防大会で、優秀旗を受けました。
- 8・20 玉造土地改良区が設立されて、理事長に橋川義雄氏が就任、上地区内の水田、百畝の基盤整備事業を推進することになりました。
- 9・23 県消防大会で、優秀旗を受けました。
- 9・30 教育長小沼巧氏が退職しました。
- 10・4 オリニック豊沢リレーに飯田栄君ら7名が参加しました。
- 10・15 農業委員会改選後第一回の総会が開かれ、会長に、笹目義雄氏が再選されました。
- 10・24 教育長に、大森 隆氏が就任しました。
- 11・13 武蔵野農産物振興協同組合長川島武夫氏が、県功績者として表彰されました。
- 11・30 玉造町地域防災計画が決定しました。
- 12・19 教職員住宅6戸の起工式を行ないました。

- 10・8 34年度納税優良町として金看板を受けました。
- 10・15 玉造町商工会の創立総会が開かれ、会長に、関口丑之助氏が選ばれました。
- 10・31 万才共同給水施設が完成しました。
- 11・27 玉造小学校創立50周年記念式が行なわれました。
- 36 年 1・20 上山共同給水施設が完成しました。
- 2・1 町営住宅20戸が完成しました。
- 3・9 谷島地区暗渠排水事業が完了しました。
- 4・3 羽生共同給水施設が完成しました。
- 4・29 農業研究を目的として、村づくり会が結成されました。
- 玉造町商工会長に、菅谷蕃氏が就任しました。
- 6・15 青年研修所の開所式が行なわれました。
- 6・21 県立工業高校誘致促進委員会が設けられました。
- 6・27 6号台風の集中豪雨により、80戸の家屋、3百畝の水田が冠水水、堤防決壊2カ所という被害がありました。
- 7・24 28日までの5日間、北浦村と兵庫で、青年農事研修会が開かれました。
- 9・23 沖洲、勸修寺古墳の発掘調査が行なわれ、貴重な成果をあげました。
- 10・10 公衆衛生優良町として、

ええでしう。

たばこは地元のたばこ
屋で買ひましょう。

38年度のたばこ消費税は、2
百5万円でした。

商工会欄

年末、年始
大売出し

年末、年始大売出しは、12月25日から、1月7日まで、加盟79店で実施し、総売上高は目標額の93%という、成果をおさめました。

また、お買上高により、お客様百45名を、1月7日、バス3台で新宿コト劇場に招待し、初笑いコマ喜劇を観覧していただきました。

電話番号簿を発行

昨年末企画しました、玉造町全地域の電話番号簿が、各スポンサーの協力により、近く発行されま

農協貯金者保護制度

うまれる

全国一方の農協に貯金しているすべての人に対して、確実に貯金の支払いを保証するための制度がうまれました。

これは、農協共同組合（農協）信用農協共同組合連合会（信連）農林中央金庫（中金）の系統団体が、一体となって、共同責任でつくりあげ、全国的な制度です。

具体的なものはいは
①貯金者に、安心感を与える
この制度に加入した農協には、県信連と中金が、貯金の支払いを完全に保証しています。

す。この電話番号簿は、各商店、工場等の名前が、そのまゝ見出しとなっており、今までの電話帳より非常にわかりやすくなっています。

電話架設の全家庭に、郵便局を通じておとどけすることになっていますから、ご利用ください。

講習会、講演会

への出席

商工会で実施している講習会、講演会等は、近時経済状況にもとづく経営のあり方について、専門家の話を聞くことであり、そして、これらの実践によって、よりよい経営成果をあげていただくことが目的なのです。

年頭のあいさつ

菅 谷 馨

玉造町長
新しい年を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。商工会も、法利化以来5年目となり、年を追ってよいよう強固となりつつありますことは、誠に

られています。

また、農協の増進など、地域産業の、計画的な振興をはかっているためにも、貯蓄の増進をはかって、その資金源である、貯金をのびせなければなりません。

信頼のないところに、貯金はない、信用を高めることで、貯金増進の基礎であります。

③必要な貸付をしやすくすること

農協は、新しい、豊かな事業に融資しようとしても、貯金者の安全を考えると、いろいろ、壁にぶちあたることがあります。

こうしたなかで、必要な融資をとりあげていくには、貸付を保証する制度のほか、このような、貯金者を保護する制度が必要なのです。

ご同慶にたえません。

わが町の小規模事業者の、経営の改善と、地域商工業の総合的な発展をはかる、という大きなこととは、商工会関係者はもとより、町当局、各種団体とも一体となつて、推進しなければなりません。

5周年を迎えたことは、この意味において、一そう組織の強化をはかり、財政基盤を確立し、指導の効果を十分に発揮しなければなりません。

みなさま方の、一そうのご努力と、ご協力をお願いすると共に、この昭和40年を、よりよい年にしたいと念願するものであります。

玉造町では、全農協が、この制度に加入しております。

「全国農協2兆円貯蓄運動」の、12月31日現在実績は、2兆6百億円になりました。

経営講習農場

傳習生の募集

1 伝習生の種類

本科生 中卒以上 1年間

2 研究所 高卒以上 1年間

3 募集人員 本所 百30名

4 申込期間 2月10日～2月20日

くわしいことは、直接同農場、または、農業改良普及員にお問ひあわせください。

□~~~~~
電気のABC
□~~~~~
◇メーター

外出の時は、たしかめて。正式には、積算電力計といいますが、とおりが悪ければ、電気のメーターといひましよう。

毎月、電力会社の検針員が見ていく、あのメーターです。家の中で電気を使われているメーターは回り、目盛りがあがっていきます。だから、家をするに

するときなどは、ちよつと、メーターを見て、メーターの中の円盤が回っているかどうか、確かめるのいいことです。

もし、円盤が回っていないらーアイロンなどをうつかりつけばなしにしても、差支えきようというわけです。

人事

1月4日付

税務課長 笠原秀司（産業課長）

建設課長 福田 義（会計係長）

産業課長 萩原健吉（建設課長）

振興係長・地籍係長兼任 出納室・会計係長 関野吉房

産業課・農地係長 森作 功（徴収係長）

3 募集人員 本所 百30名

4 申込期間 2月10日～2月20日

くわしいことは、直接同農場、または、農業改良普及員にお問ひあわせください。

退職 飯島駿三（税務課長）

退職 飯島駿三（税務課長）

文 芸



俳 句

冬日中双峰しかと大筑波
五六枚耕してあゝ冬田かな
古磨めぐり忘れてありにけり

東京 高木 耕人

「ともつな」初句会

笹鳴のこに育つや一閑寺

笹目 久子

指さして梅一輪や姉妹

高塚 ひで

一閑寺いらかに唐紅椿

塚本 たつ

吟行の案内役や深葉たぐ

八木 操苑

宵初に伝統の美まがえり

益子 稲里

かしこみし手のほぐれ行く深葉た

松本 顕石

村々のしげみの彼方冬の湖

渡辺千恵子

神主二人火桶をたきて去年今年

小谷 草洞

何や彼と妻に雑用二か日

川島 草人

発行所 玉造町役場 発行人 坂本 威 編集 広報委員会（定価一部10円）

印刷所 新いはらき印刷局